

Windows8.1/10対応版デジタル式運行記録計利用者ソフト 運行データ取り込みツール 操作手順1/3

～はじめに～

- ・本ツールは Windows8.1/10対応版デジタル式運行記録計利用者ソフト(以下、17ソフト)へ、Windows7/8/8.1対応版デジタル式運行記録計利用者ソフト(以下、14ソフト)で読み取った運行データを移行するためのツールです。
 - ・一度の実施でデータ移行が完了します。
 - ・パソコン環境や運行データ数等により完了までの時間が長くなる場合があります。
 - ・本ツールは同時に2つ以上実行しないでください。
 - ・本ツール実行中は17ソフトを使用しないでください。
 - ・本ツール実行前に運行データのバックアップをとってください。
バックアップをとる際、フォルダを以下データ格納場所とは別の場所にコピー・保管してください。(※1)
- ※1 以下のフォルダに運行データが格納されています。
- ・14ソフト C:¥TTI¥microDigiTachoAnalysisSoft¥DigiUserSoftData¥Data
 - ・17ソフト C:¥TTI¥DigiTachoUserSoft17¥DigiTachoUserSoft17Data¥RecData

手順①

本ツール利用前のパソコン周辺準備

- ・本ツールを利用する前に、運行管理を行うパソコンへ「17ソフト」をインストールしてください(すでに17ソフトをインストールしている場合は不要です)。
- ・パソコンのローカルディスク(Cドライブ)に、取り込む運行データの2倍以上の空き容量があるかご確認ください。

手順②

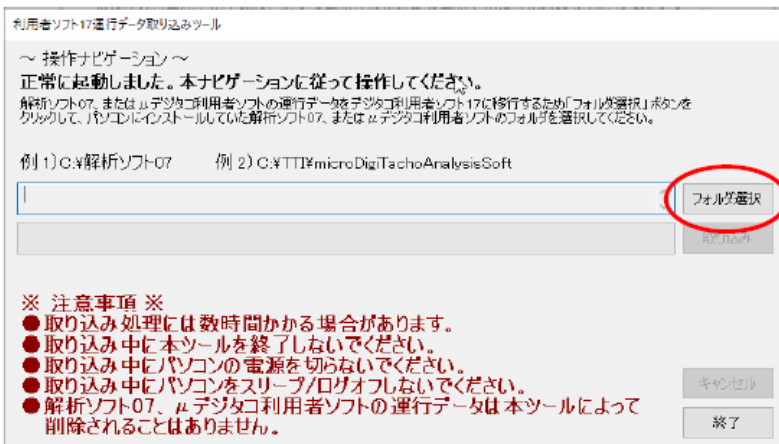
14ソフト運行データの移行

- ・14ソフトの運行データを、「17ソフトがインストールされているパソコン(手順①のパソコン)」内の任意のフォルダにコピーしてください。(※2・3)
- ※2 本ツールを起動するユーザーアカウントからアクセスできる状態でコピーしてください。
- ※3 以下のフォルダに14ソフトの運行データが格納されています。
C:¥TTI¥microDigiTachoAnalysisSoft¥DigiUserSoftData¥Data

手順③

ツールの起動

本ツールを起動すると、以下のポップアップが表示されます。
「フォルダ選択」ボタンをクリックしてください。



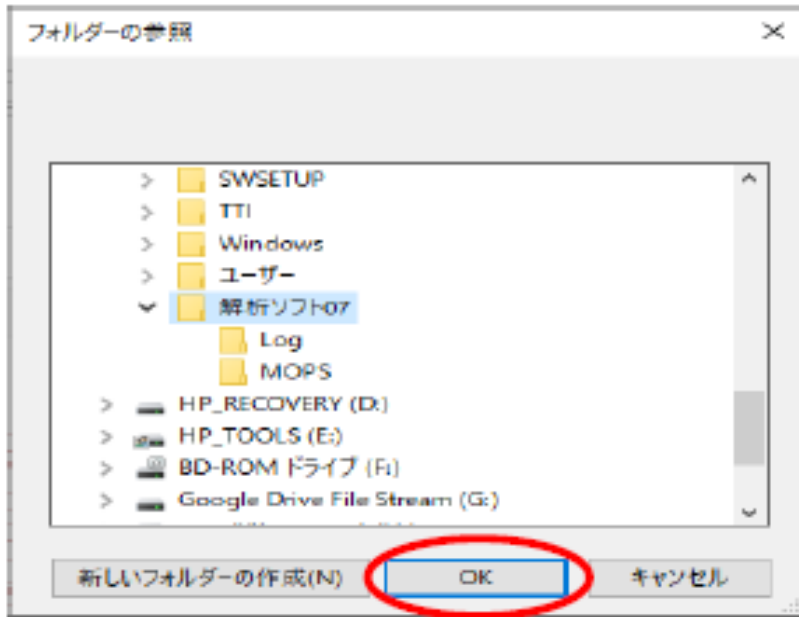
Windows8.1/10対応版デジタル式運行記録計利用者ソフト 運行データ取り込みツール 操作手順2/3

手順④

取り込みデータの選択(14ソフトの運行データ)

参照画面が表示されますので、
手順②で実施した任意のフォルダを選択し、OKボタンをクリックします。

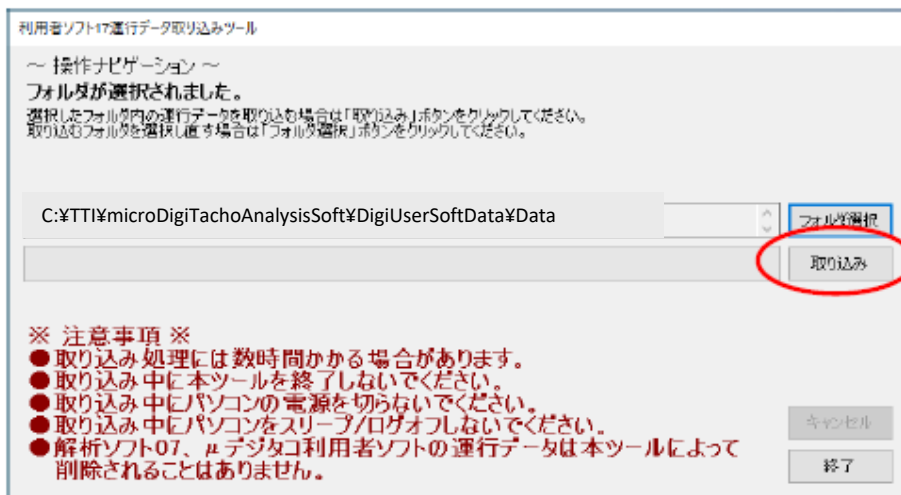
参照画面イメージ



手順⑤

データの取り込み開始(14ソフトの運行データ)

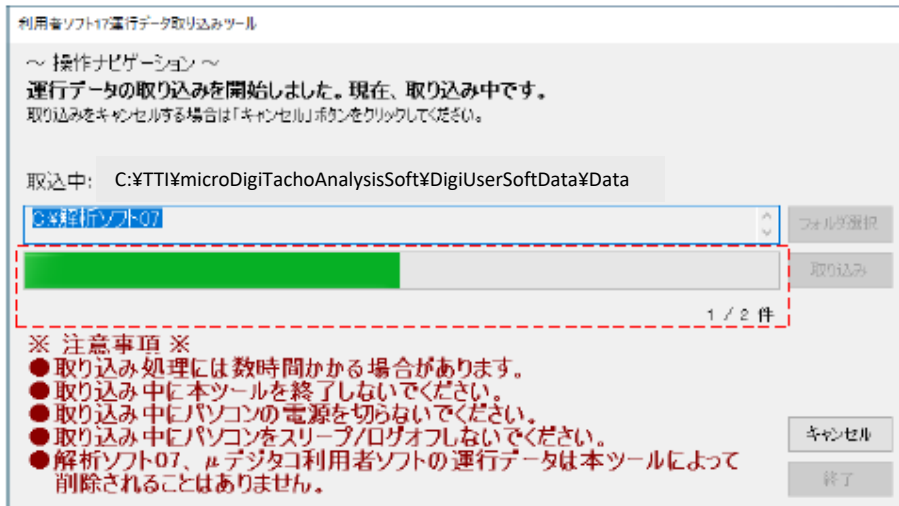
フォルダ選択後、「取り込み」ボタンをクリックすると、作業が開始されます。



手順⑥

データ取り込み時の表示について

緑色のバーと「X/X 件」が作業の進捗状況を表しています。
作業が完了するまでお待ちください。



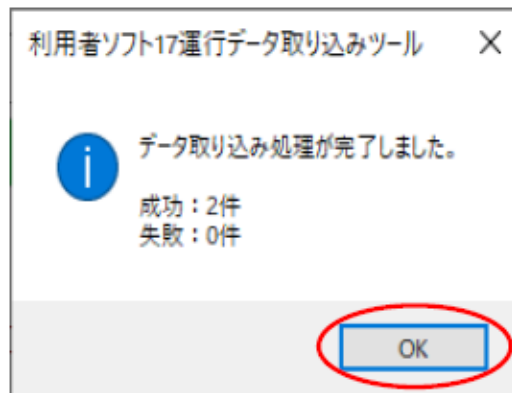
※ 注意事項 ※

- 取り込み処理には数時間かかる場合があります。
- 取り込み中に本ツールを終了しないでください。
- 取り込み中にパソコンの電源を切らないでください。
- 取り込み中にパソコンをスリープ/ログオフしないでください。
- 解析ソフト07、μデジタルコ利用者ソフトの運行データは本ツールによって削除されることはありません。

手順⑦

作業完了時の表示

作業が完了すると、取り込み結果が表示されます。
「OK」ボタンを押して終了してください。



【参考】移行データの確認方法

17ソフトの「データ検索」ボタンから移行したデータを表示する事ができます。

※推奨のパソコン環境は、以下の通りです(17ソフト同様)。

- ・Windows 8.1 Pro 64bit版 日本語
- ・Windows 10 Pro(2004) 32bit版 日本語
- ・Windows 10 Pro(2004) 64bit版 日本語